別記第６号様式（第１４条関係）
（その１）

特定施設変更届出書（大気）

年　　月　　日

和歌山市長　　殿

住　所（所在地）（電　話　郵便番号）

届出者

氏　名（法人にあっては、名称及び代表者氏名）

和歌山県公害防止条例第２６条第１項の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

該当するものを○で囲む	(1)いおう酸化物及びばいじん　(2)有害物質　(3)粉じん　(4)悪　臭		
工場等の名称		公害防止責任者	担当部課（室）名
工場等の所在地	（郵便番号　　電話番号　　）		担当者職氏名
特定施設の種類	☆	※受理年月日	
特定施設の構造	☆	※整理番号	
特定施設の使用の方法	☆	※審査結果	
ばい煙の処理（管理）の方法	☆	※備考	

備考　１　※印の欄には、記載しないこと。

２　☆印の欄の記載については別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

３　変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対照させること。

４　施設の配置図を添付すること。

５　届出書および別紙の大きさは、やむをえないものを除き、日本産業規格Ａ４とする。

別紙１（ばい煙 その１）

ばい煙発生施設の種類及び構造

（県条例）

ばい煙発生施設の種類			
工場または事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年　月　日	年　月　日
着手予定年月日		年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日		年　月　日	年　月　日
規模	伝熱面積（㎡）		
	バーナーの燃料の焼却能力（重油換算L/時）	（最大） （通常）	（最大） （通常）
	原料の処理能力（t/時）	（最大） （通常）	（最大） （通常）
	火格子面積（㎡）		
	羽口面断面積（㎡）		
	変圧器の定格容量（KVA）		
	触媒に附着する炭素の燃焼能力（kg/時）		
	焼却能力（kg/時）	（最大） （通常）	（最大） （通常）
	乾燥施設の能力（kg/時）	（最大） （通常）	（最大） （通常）
	電流容量（KA）		
	ポンプの動力（kW）		
参考事項			

備考　１　設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

２　規模の欄には、施行規則別表第３に掲げる規模または能力について記入すること。

３　ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格Ａ４の大きさに縮小したものまたは既存図面等を用いること。

別紙２（ばい煙 その２）

ばい煙発生施設の使用方法

（県条例）

工場又は事業場における施設番号					
使用状況	１日の使用時間及び月使用日数等	時 ～ 時 時間/回 回/日 日/月		時 ～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
原材料 （ばい煙の発生に影響のあるものに限る。）	種類（主原材料）				
	使用割合				
	原材料中の成分割合（いおう分・有害物質）	(1) %	(4) %	(1) %	(4) %
		(2) %	(5) %	(2) %	(5) %
		(3) %	(6) %	(3) %	(6) %
	１日の使用量				
燃料又は電力	種類	（比重 ）		（比重 ）	
	燃料中の成分割合（%）	灰分	いおう分	灰分	いおう分
	発熱量				
	通常の使用量(L/日)				
	混焼割合				
排出ガス量（Nm³/時）		最大 通常		最大 通常	
排出ガス温度（℃）					
排出ガス中の酸素濃度（%）					
ばい煙の濃度	ばいじん（g/Nm³）				
	いおう酸化物（容量比ppm）				
	有害物質	最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
		最大 通常		最大 通常	
ばい煙量	いおう酸化物（Nm³/時）				
参考事項					

備考　１　原料中の成分割合（%）の欄及び燃料中の成分割合（%）の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。

２　ばい煙濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

３　ばい煙濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。

４　ばい煙濃度のうち、有害物質については排出口濃度とし、その単位を明記すること。

別紙３（ばい煙 その３）

ばい煙の処理の方法

（県条例）

ばい煙にかかる処理施設の工場または事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設置年月日			年　月　日	年　月　日
着手予定年月日			年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日			年　月　日	年　月　日
処理能力	排出ガス量（Nm3/時）	最大		
		通常		
	排出ガス温度（℃）	処理前		
		処理後		
	ばい煙の濃度	ばいじん（g/Nm^3）	処理前	
			処理後	
		いおう酸化物（容量比ppm）	処理前	
			処理後	
		有害物質 (1)	処理前	
			処理後	
		有害物質 (2)	処理前	
			処理後	
		有害物質 (3)	処理前	
			処理後	
		有害物質 (4)	処理前	
			処理後	
		有害物質 (5)	処理前	
			処理後	
	ばい煙量	いおう酸化物（Nm^3/時） 最大	処理前	
			処理後	
		通常	処理前	
			処理後	
	捕集効率（%）	ばいじん		
		いおう酸化物		
		有害物質 (1)		
		有害物質 (2)		
		有害物質 (3)		
		有害物質 (4)		
		有害物質 (5)		
使用状況	１日の使用時間及び月使用日数		時　～　時 時間/回　回/日　日/月	時　～　時 時間/回　回/日　日/月
	季節変動			
排出口の実高さ Ho (m)				
煙突の頂口径（m）及び形状				
補正された排出口の高さ He (m)				
排出速度 (m/s)				

備考　1　設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

3　補正された排出口の高さHeは、大気汚染防止法施行規則第３条第２項の算式により算定すること。

4　ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

5　有害物質については、作原工程図を添付し、図面中に各工程毎または時間当りの有害物質の発生量を記載すること。

別紙４

粉じん発生施設の種類・構造ならびに使用・管理の方法

（県条例）

粉じん発生施設の種類				
工場または事業場における施設番号				
設置年月日			年　月　日	年　月　日
着手予定年月日			年　月　日	年　月　日
使用開始予定年月日			年　月　日	年　月　日
規模				
使用および管理の方法	粉じん発生施設が設置されている建築物の概要			
	集じん機	集じん機の種類・型式		
		集じん機の効率(%)		
		送風機の原動機出力(kW)		
	散水施設	装置の種類・型式		
		装置能力（m^3/時）		
		処理量当たりの散水量（l/時）		
	防じんカバーの設置状況			
	その他	方法		

備考　1　設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2　規模の欄には、施行規則別表第３の３に掲げる規模または能力について記入すること。

3　使用および管理の方法については、処理にかかる設備の概況を示す構造をとその 主要寸法を記入した概要図を添付すること。

4　その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する装置について記載すること。